

# 第1部 共生による環境先進地・京都の実現を目指して

## 第1章 きょうと生物多様性センターの開設について

府は、平成30年3月に策定した「京都府**生物多様性\***地域戦略」に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用を推進してきましたが、生物多様性保全に向けた取組の一層の促進を図るため、京都市との協調により令和5年4月に「きょうと生物多様性センター」を開設しました。

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築することを目的とし、オール京都で生物多様性の取組を進めてまいります。

### 1 きょうと生物多様性センターについて

「きょうと生物多様性センター」は、生物多様性地域連携促進法に基づく、生物多様性に係る各主体間における連携・協力のあっせん、必要な情報の提供や助言を行う拠点「地域連携保全活動支援センター」として位置づけられる拠点施設です。

「地域連携保全活動支援センター」は、全国で約20の自治体により設置されていますが、「きょうと生物多様性センター」は、都道府県と政令指定都市が協働で設置している唯一の事例です。

センターでは、府立植物園、左京区役所、京都府立大学を拠点とし、「収集」、「利活用」、「継承」をテーマに生物多様性に関する取組を進めています。

- ①本部オフィス：京都府立植物園会館（事務局、コーディネート等）  
〔住所：京都市左京区下鴨半木町〕
- ②交流オフィス：左京区役所（ネットワーク形成（交流場所）、情報発信等）  
〔住所：京都市左京区松ヶ崎堂ノ上町7番地の2〕
- ③情報オフィス：京都府立大学（生物多様性情報の集積・データベース化）

図1-1-1  
テーマ図



写真1-1-1

本部オフィス（府立植物園）



写真1-1-2

交流オフィス（左京区役所）



写真1-1-3

情報オフィス（京都府立大学）



## 2 センターの取組紹介について

センターが4月以降に実施してきた代表的な事業について紹介します。

### (1) 多様な主体の連携を推進するコーディネート業務

きょうと生物多様性センターのメインの事業は、多様な主体の連携を進め、京都府内の生物多様性に関する取組を推進するコーディネート業務です。

これまでから京都府で関わりのあった保全団体等との連携を深め、また、様々な関係者との新たな連携をスタートさせています。

(代表的な連携について)

- ・ 府内の自然関係施設と連携し、スタンプラリーなど生物多様性に係る普及啓発を実施
- ・ 府立植物園や京都市動物園などと連携し、イベントや展示会を実施
- ・ 小学生向けの『身近ないきもの相談会』を開催
- ・ 府立植物園と植物の専門家をマッチングし、府内の植物調査や生息域外保全活動を推進
- ・ 外来植物防除活動への助言など保全団体が実施する保全活動への支援を実施
- ・ 民間企業・小学校・府内市町村などに講師を派遣し自然観察会などを実施
- ・ 民間企業や研究機関と連携し、地域の保全活動の活性化について検討
- ・ 京都府立大学との共催によりセミナー「京都府の生きものマップによる新・自然史科学の可能性～山林から海浜まで～」を実施

### (2) 設立記念シンポジウム「京都の暮らしや文化と生物多様性の恵み～暮らしの豊かさを支えるものとは～」

7月21日、京都府立京都学・歴彩館にて、きょうと生物多様性センター設立記念シンポジウムを開催しました。冒頭の挨拶で知事は「生物多様性がこれからも京都の文化や伝統と共にあるよう、より良いものとして未来に引き継いでいきたい」との抱負を語りました。その後、同センター名誉センター長である山極壽一氏が基調講演を行い、京都水族館の河崎誠記副館長、YouTuberのマーシー氏、令和4年度京都環境賞大賞受賞者である中学生の吉武諒人氏、同センター長である湯本貴和氏と共にパネルディスカッションを行いました。

当日は、オンライン視聴も含め、500名を超える方にご参加いただき、皆様と京都の生物多様性について考える機会を持つことができました。また、閉会後も多くの方がホールに残られ、若者も含め、参加者同士で熱く語り、交流を深めておられる様子を見ることができました。

図1-1-2  
シンポジウムチラシ



### (3) きょうと☆いきもの調査

身近な自然環境の現状を把握することを目的に、また、府民の皆様自然の魅力に触れてもらうため、住民参加型のいきもの調査を実施しました。第一弾は、身近な存在であり子供たちも大好きな「ドングリ」を対象に実施しました。

ドングリ調査に関連し、京都御苑でのドングリ自然観察会、大阪市立自然史博物館が開催する「大阪自然史フェスティバル」でのブース出展などを行い、ドングリを通して子供たちに自然の魅力に触れてもらうことが出来ました。

図1-1-3  
ドングリみわけ図鑑



#### (4) きょうと☆いきものフェス

自然に関わる活動の紹介等を通じ、生物多様性についての理解を深めていただくイベント「きょうと☆いきものフェス! 2023」を令和5年10月8日、9日に京都府で初めて開催しました。ブース展示や、様々なワークショップ、活動発表、交流会、講演会を通じて、情報発信と交流を深めるとともに、子どもから大人まで幅広い世代の方たちに生物多様性について学んでいただきました。

本イベントは、「保全に関わる団体・企業等の交流・商法発信」と「府民への生物多様性の普及啓発」を目的として開催しましたが、生物多様性に関わる京都府内の約50団体・企業・個人等が大集結し、府民も延べ5,000人に参加いただくなど京都の底力を実感する結果となりました。

図1-1-4  
フェスチラシ



写真1-1-4  
当日の写真1



写真1-1-5  
当日の写真2



写真1-1-6  
当日の写真3



#### (5) きょうと生物多様性パートナーシップ協定

生物多様性の保全等に関心を持つ民間企業と、京都府・京都市の事業趣旨に即した保全活動を行う団体とのマッチングを図る「生物多様性パートナーシップ協定制度」を令和5年9月に創設しました。詳しくは、ニュースフラッシュ(P9)を御覧ください。

#### (6) 生物多様性から見る京都学 その1 「京都の自然はオモシロイ！」

12月10日、京都府立京都学・歴彩館にて、「京都の自然」の面白さについて、知り、学び、共有するシンポジウムを開催しました。

当日は、オンライン視聴も含め、200名を超える方にご参加いただき、地形や地質、水系なども含めた京都の自然について、考える機会を持つことが出来ました。今後、京都の自然について考えるセミナーなどを定期的の実施していく予定です。

図1-1-5  
シンポジウムチラシ



写真1-1-7 当日の写真1



写真1-1-8 当日の写真2



### 3 今後のセンターについて

きょうと生物多様性センターでは、効果的かつ持続可能な生物多様性保全を進めるため、今後も保全に係る様々な主体の連携・協力関係の構築など、様々な取組を展開していく予定です。

生物多様性についてのお困りごとなどがあれば、是非センターまで相談ください。